

## プラマとホロン

サーカー プラマ論 (文責：吉見)

プラマとは、英語のバランスを意味します。英語の *equilibrium* 「平衡」と *equipoise* 「均衡」の二つの意味を含んでいるとサーカーは言います。"Equilibrium" 「平衡」は、物的な強さのバランスです。"equipoise" 「均衡」は重さのバランスです。綱引きで両方から引っ張って、静止している状態は、平衡です。天秤が釣りあっている時は、「均衡」です。この意味で、「平衡」と「均衡」を合わせたものがプラマです。

サーカーは、プラマを確立してゆく努力の重要性について次のように言います。

「世界中の様々な国の歴史を分析すると、その巨大な物的身体的、知的心理的、精神的な潜在的可能性にもかかわらず、個人と集団生活にプラマを確立すべき機会を活用しなかったことに気づきます。それは、その欠陥のある考えと行いとその間違った社会経済システムのためでした。・・・プラマがないことで彼らは人間社会に対して十分に可能であった貢献をすることができませんでした。・・・」

そして、三つの領域でのバランス回復のうちまず物的身体的領域における確立のよびかけをします。

「自然は世界のあらゆる地域で豊かでした。そして地表でも地下でも莫大な富を私たちに与えてきました。実際、世界の様々な地域は農業、鉱業、水産業、医学、森林などの資源に満ちています。にもかかわらず、世界の多くの経済的地域において貧困、低い生活水準、文化と産業の後進性があります。物質科学が急速な発展をとげたことを自称している 20 世紀の今日ですら、結果として、教育設備の不足だけでなく、食料、衣服、住居の切実な不足にのろわれて、数百万人の人々はその身体的生存のために苦闘しています。自然の恵みのおかげで、いかなる経済的地域にも物的資源の不足はありません。

しかし、優しい性向の欠落のゆえ、これらの資源は、社会と経済の発展に活用されてきませんでした。したがって人々の基本的な物的身体的な必要性(食物、衣服、居住、医療、教育)は満たされることができませんでした。明らかに、物的身体的領域にひどいプラマの欠落があります。世界中、ほとんどすべての国が、プラマが欠けているために、同じような種類の経済的危機に直面しています。」

そして、物的身体的領域、知的心理的領域、スピリットの領域の三領域のうち、物的身体的領域、すなわち経済におけるプラマの確立が他の二領域の土台になるゆえに、まず経済的領域のバランス回復からとりくみなさいと次のように言います。

「物的身体的、知的心理的、精神的な生活の三つの領域は同じ重要性をおびているけれども、最初の段階では物的身体的領域により大きな重要性が与えられるべきです。もし、プラマが物的身体的領域で失われていたら、反社会的要素が社会の中で力をもつでしょう。それは、社会全体の環境を汚染するでしょう。その帰結として、知的心理的、精神的領域におけるプラマが失われ、知的心理的状況はさらに悪化することになります。そこで物的身体的領域でのプラマトゥリコーナの確立がもっとも必要です。」

そして農業という食の生産は経済の土台であり、農業経済のバランスの上に他の経済領域のバランスを組み立てなさいと次のように述べています。

「たとえば、どの社会経済単位の食料問題の解決を試みる際にも、農業の歪三角形を作るべきです。適切な灌漑システムを導入しなくてはなりません。そして高品質の多様な種子を用いなくてはなりません。土地の広範囲な耕作、トラクターと必要な肥料の使用によって、毎年、三、四回、作物が収穫できるかもしれません。土壌にふさわしい作物を選ぶべきです。農業協同組合と農業生産者組合を開始しなくてはなりません。そして農民団体を形成しなくてはならないでしょう。農業は、利益の原理ではなく消費の原理にもとづいて導かれるべきです。農産物の適切な貯蔵、配分が必要です。農業のローカトゥリコーナにおける適切なバランスは物的身体階層におけるローカトゥリコーナにおけるバランス確立に役立つでしょう。」

知的心理的領域においてもバランス（プラマ）の重要性について述べています。

「人間の哲学思想、科学的発見や実験、知識の様々な分岐の研究と分析は、知的心理的領域の黄金の収穫として心の中の知的心理的な分野の内部にあります。しかし、もし、知的心理的分野にプラマが欠落するならば、多くの手抜かりの過ちや失敗が、その芸術、建築、文学、哲学、科学、またその他の人間の知識の分岐に必ず入りこみます。踊りは、そのリズムを失い、絵画はプロポーションを失い、音楽はそのメロディとリズムのハーモニーを失うかもしれません。そして文学の様々なジャンルにおいては、未熟な表現の雑草が過剰に生い茂るでしょう。画家が小さな池の絵を描いているとしましょう。その池は満開の蓮を咲かせている美しい透き通った水に満ちています。池は、一平方インチの場所を占めているとしましょう。そこがその蓮の花びらは二平方インチの場所を占めています。この場合、画家は明らかに全体の均整についての基本的センスを失ってしまいます。そして芸術の創造におけるプラマの原理を侵害してしまいます。もちろん、プラマがないならば、芸術的創造は、均整のとれたものであることはできません。」

さらに精神性（スピリチュアリティ）の領域においてもプラマの重要性を論じます。

「精神性の主な目的は、・・・大宇宙と小宇宙の間の、宇宙存在と人間存在の間の一体性を打ち立てることです。真の精神性を無視し、宗教的ドグマに導かれて、しばしば人々は巡礼地への長期の危険な旅をしました。時には家や耕地などのこの世の財産を売却してまで旅にその旅をしました。聖なる川に身を浸すという善行を積むことを望む人々がいます。これは、エネルギー、時間、お金の無駄であるばかりでなく、多くのトラブルを引き起こし、精神的に何も得るものがないことは言うまでもありません。これが精神性の領域におけるプラマの欠落の一例です。・・・」

しかし、最初に述べたように物的身体的領域（経済的領域）のバランスの土台の上に知的心理的領域と精神性（スピリチュアリティ）領域におけるバランス追求が大切という観点です。サーカーのスピリチュアリティ哲学は、物的身体的土台にしっかり根ざした論を展開している点で他の卓越しています。

プラマ（バランス）の回復は段階をおって進めなさいと次のように述べています。

「一度、社会が墮落の段階に達するならば、ローカトゥリコーナのバランスはすぐには回復できません。むしろ、社会は、墮落の段階から分裂の段階に、そして分裂の段階から混乱の段階に一步一步持ち上げられなくてはならないでしょう。そして最終的にはプラマトゥリコーナでバランスがとれた段階を打ち立てなくてはならないでしょう。」

トゥリコーナは三方向の力です。その力が三角形をつくっているとイメージしてください。まず、三角形の内部に下位三角形を作り、その下位三角形のバランス回復するを積み重ねることからはじめなさいとサーカーは論じます。

「まず第一に私たちはそれぞれの階層を様々の下位階層に分割しなくてはなりません。たとえば、私たちは物的身体的領域を次の亜階層に分割します。農業、鉱業、交易と商業、医療、灌漑、物的身体的教育などです。教育に関しては、それが物質世界に直接かかわっているため、物的階層の領域の内部に科学の項目が入るべきです。他方で、人間性の主題（言語、文学、歴史、哲学など）は知的心理的領域の中に入るべきです。それぞれの亜階層に対して下位三角形を作ることによって、よりしっかりしたバランスを作ることができます。

物的身体的階層は墮落の段階から分裂の段階に次第に高まらなければならないでしょう。下位三角形でより大きなバランスを回復した後に、物的身体階層は分裂の段階から混乱の段階に高められるべきです。すべての下位三角形が完全な均衡にある時、物的身体的階層のローカトゥリコーナとプラマトゥリコーナにおいて完全なバランスが実現するでしょう。

同様に、知的心理的階層においても多くの亜階層があります。物的心理的、心理的、心理精神的などです。これらの下位階層でのバランスが増す時、心理的階層は墮落の状態から分裂の状態に向上し、そして分裂の状態から混乱の状態へ向上します。最終的に知的心理的階層に完全なローカトゥリコーナが実現するでしょう。

精神性の領域の問題まできました。それもいくつかの下位階層に分割されます。ただし、その数は比較的少ないです。下位階層の内部のバランスの程度は次第に増加してゆくでしょう。このように精神的階層は墮落、分裂、混乱の段階を通じて向上してゆくでしょう。精神的階層のローカトゥリコーナにおけるバランスがその時確立するでしょう」

すなわち、物的身体的領域も、知的心理的領域も、スピリットの領域も下位三角形に分けて、それぞれの下位三角形をさらに下位三角形に分けたりして、下位から上位階層のそれぞれの階層のバランスの回復を同時追求してゆく必要があります。全領域で多次元的に同時並行のバランス回復のアプローチが必要なわけです。

以上、引用は、サーカーの「絶えず変化する均衡と平衡

DYNAMIC EQUILIBRIUM AND EQUIPOISE」1987年より、